



ちょっと、ざわざわ、しに行く。

めぐりアート 静岡

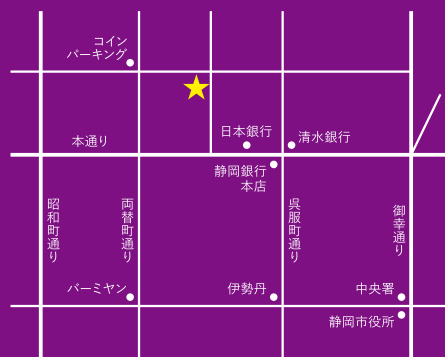
2016 1/26 tue. – 2/14 sun.

入場無料 ※ 静岡県立美術館 県民ギャラリーのみ：2/2 tue. – 2/7 sun.

「めぐりアート 静岡」は、静岡大学の「アートマネジメント力育成事業」の一環として平成25年度から始まった、今を呼吸する作家を紹介する展覧会です。市内外にある会場を舞台に、8名の作家がこの土地との交わりを多様な切り口で表現します。美術館からギャラリー、映画館まで、チラシを片手にめぐってみませんか。いつもの街が、「ちょっと、ざわざわ」しています。

金座ボタニカ 乾 久子

④ 月・火曜日 (1月26日(火)は開廊)
 ⑤ 13:00-19:00 (最終日は17:00まで)
 〒420-0029 静岡市葵区研屋町25
 ☎ 090-6113-5421 (下山)



浜松会場
 鴨江アートセンター ロビー
 1月12日(火)～19日(火)

会期中無休 ⑤ 9:30-21:00 (最終日18:00)
 〒432-8024 静岡県浜松市中区鴨江町1
 ☎ 053-458-5360

ワークショップ「くじびきドロ잉」

- 1月17日(日) 14:00～16:00
→ 鴨江アートセンター
- 1月31日(日)
- 2月 7日(日) 各日13:00～15:00
→ 金座ボタニカ

詳細は右下「関連イベント」をご覧ください。



乾 久子 いぬい・ひさこ

1958年 藤枝市生まれ 浜松市在住
 1981年 静岡大学教育学部卒
 1983年 東京学芸大学大学院修士課程修了
 2007年 個展 “Das Erlebnis der Linien” Gallery Meta Weber / ドイツ
 2008年から静岡、福島各地でワークショップ『くじびきドロ잉』を多数行う

これまでの乾久子のドロ잉には、「孤高の存在」としての気配がキワだった。だが、同じドロ잉でも、「くじびきドロ잉」では、「他者との関係」がより色濃くなった。「わたし」と「あなた」のキワがどんどんはみ出して溶け合っていく。これこそ乾の仕掛けた「キワドイ」の発露である。まことにもって愉快である。(平野雅彦)



《くじびきドロ잉作品・豊岡ことばの学校／いわき市立豊岡小学校(ワークショップ)》2015.7

静岡市美術館 岩野勝人

④ 月曜日 ⑤ 10:00-19:00
 〒420-0852 静岡市葵区紺屋町17-1 葵タワー3F
 ☎ 054-273-1515 (代表)

※静岡市美術館会場は、3月27日(日)まで展示
 ※3月21日(月・祝)は開館



岩野勝人 いわの・まさひと

1961年 徳島県生まれ 京都市在住
 1990年 京都市立芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了
 2008年 「IWANO MASAHIRO 現代アートによる徳島再見」/ 徳島県立近代美術館
 2015年 「Erosion/Transfiguration
 - 侵蝕と変容の先の関係性へ -」/ 瑞雲庵 (京都)



《MENTAL CHAIR V》
1995

《MENTAL CHAIR IV》
1998-2013

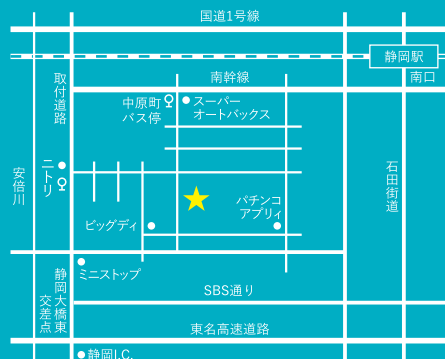


岩野勝人のメンタル・チェアは、人のカタチをしている。太い鉄筋を無数に曲げて溶接して作られていて、自由に座ることができる。体を預けてみると硬い鉄筋でできているにもかかわらず、柔らかに全身が包みこまれる。まるで大きな人ならぬ人に抱かれ、宙に浮かぶようである。作家は、作品と人とのかわりをずっと求めてきた。(以倉新)

同時開催「スター・ウォーズ展 未来へつづく、創造のビジョン。」
 2016年1月23日(土) - 3月27日(日)

Gallery PSYS 門田光雅

④ 月曜日 ⑤ 13:00-19:00
 〒422-8058 静岡市駿河区中原176
 ☎ 054-288-1766 駐車場5台



門田光雅 かどた・みつまさ

1980年 静岡県袋井市生まれ
 2002年 東京造形大学美術学科絵画専攻卒業
 2008年 第23回ホルベイン・スカラシップ奨学生
 2007年 「ART TODAY 2007 門田光雅・渡辺依理」/ セゾン現代美術館 (長野・軽井沢)
 2011年 「voca2011 新しい平面の作家たち」/ 上野の森美術館 (東京・上野)



《circle (11 of 11)》2015
 53 × 33.3cm
 アクリル、カーボランダム、綿布

《10 colors》2015
 130 × 192cm
 アクリル、カーボランダム、綿布

今日アクリル絵の具は広く普及し、多くの作家たちに活用されている。だが、油絵の具に比べて歴史は浅く、その特性はまだ十分に研究されているわけではないだろう。門田はその真摯な探究者である。多様な筆触、様々なメディウムの試行、強い色彩、きらめく表層など、表現豊かな絵肌が、絵画芸術の可能性を拓き続けている。(堀切正人)



ギャラリーとりこ 成実憲一

📅 木曜日 🕒 11:00-19:00
〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-42
☎ 054-252-2364



《ヤマシナポートレート》2015 / 写真

成実憲一は障害者施設で働きながら、同時に、ヴァリアス・コネクションズというアート・プロジェクトを展開している。人々に「目をつむる」というシンプルな行為を呼びかけ、写真に写す。エリアに集う多様な人々。障害の有無、年齢や職業や性差を超えた写真の集合からは、目に見えないつながりがポリフォニーとなって響くよう。（白井嘉尚）

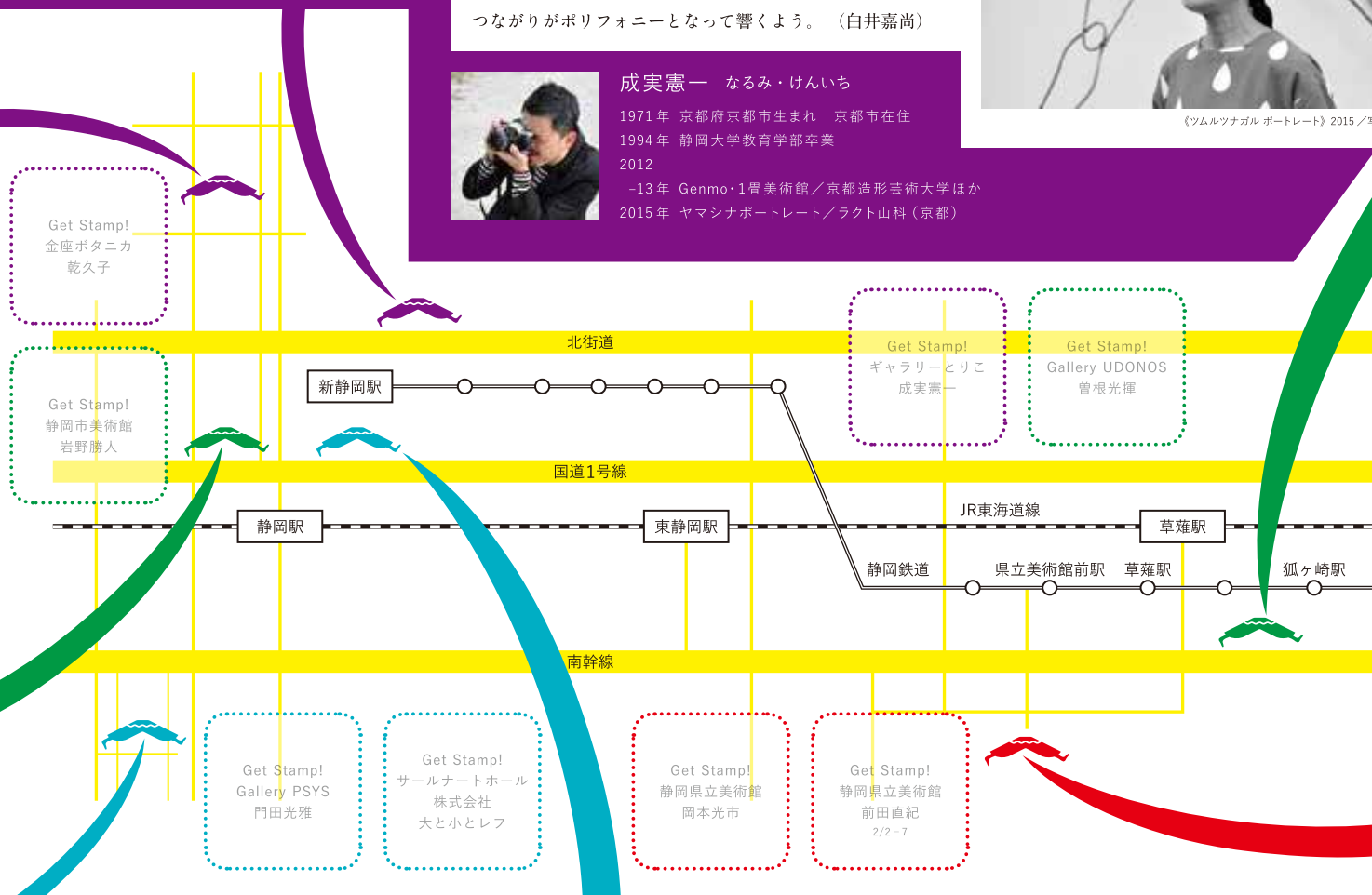


成実憲一 なるみ・けんいち

1971年 京都府京都市生まれ 京都市在住
1994年 静岡大学教育学部卒業
2012
-13年 Genmo・1壺美術館 / 京都造形芸術大学ほか
2015年 ヤマシナポートレート / ラクト山科（京都）

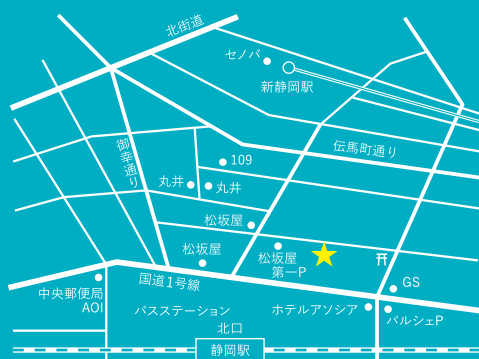


《ツムルツナガル ポートレート》2015 / 写真



サールナートホール 株式会社大と小とレフ

📅 なし 🕒 10:00-17:00
〒420-0857 静岡市葵区御幸町11-14
☎ 054-273-7450



《SPAC - 静岡県舞台芸術センター
『例えば朝9時には進がルーム51の角を
曲がってくるかを知っていたとする』》2015

株式会社とアート。水と油のような関係にも感じるこの両者を同時に扱い成立させるのが、この二人のミッションだ。ペインターとして約10年過ごしたイギリスから故郷浜松に戻った鈴木一郎太と兵庫県出身の建築家大東翼は2013年に会社を設立する。彼らにとって会社経営とは、社会の多様な分野を越境し、人の創造性を拡張する実践である。（柚木康裕）



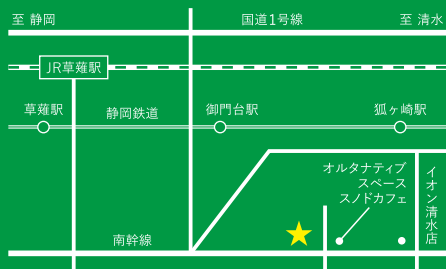
株式会社大と小とレフ（大東翼、鈴木一郎太）

大東翼：1977年 兵庫県芦屋市生まれ
鈴木一郎太：1977年 浜松市生まれ
2013年 株式会社大と小とレフ設立（静岡県浜松市）
2014.4 セミナールーム黒板とキッチン 企画改装運営 / 浜松
2015.4 ふじのくに世界演劇祭2015出品（SPAC・静岡舞台芸術センター） / 静岡



展示イメージ図

Gallery UDONOS 曾根光揮



④月曜日 ⑤11:00-19:00
〒424-0871 静岡市清水区上原1-7-3
☎ 054-346-7669 (スノドカフェ)



《写場》2014



《Whereabouts》2012

曾根光揮 そね・こうき

1990年 牧之原市生まれ 東京都在住
2015年 六本木アートナイト／六本木各所（東京）
アジアデジタルアートアワード福岡 受賞作品展／
福岡アジア美術館

静岡文化芸術大学でコンピューターグラフィックを学んできた曾根光揮は、東京藝術大学大学院映像研究科に進学するとテクニックよりも映像と人間の関係性へと興味を移していった。映像におけるリアリティへの考察や、環境変化をポジティブなものとして受容していく姿勢は瑞々しくも地に足をつけた新世代作家の登場を感じさせる。（柚木康裕）

静岡県立美術館 岡本光市

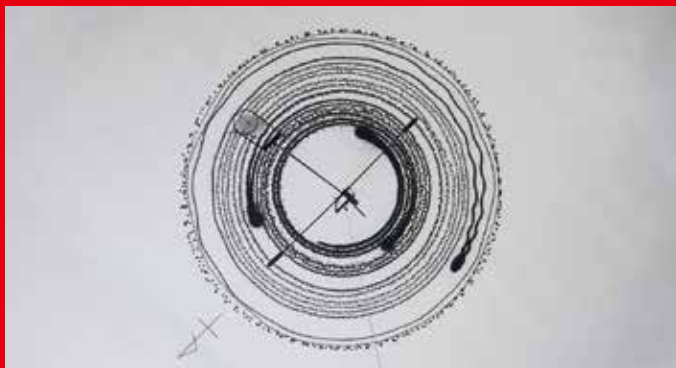
岡本光市は、テクノミュージシャン、プロダクトデザイナーとして静岡市を拠点に国内外で活動してきた。近年は、目ではとらえにくい音、光や重力を、既製の日用品や機械部品などをリメイクして、実体のあるものとして表現する立体作品も制作している。本展では、静岡に降る雨をサンプリングして作る、幻想的なサウンドインスタレーションの新作ほかを展示する。（川谷承子）

エントランスホール／県民ギャラリーA展示室
※県民ギャラリーAの会期は2月2日(火)～7日(日)



④月曜日 ⑤10:00-17:30
〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-2 ☎ 054-263-5755

同時開催
「ウィーン美術史美術館展 -風景画の誕生-」
2015年12月19日(土)～2016年3月21日(月・振休)



《magnetic field record》2013



《lighting chair》2012



岡本光市 おかもと・こういち

1970年 静岡市生まれ 静岡市在住
1997年 オランダのテクノレーベル"X-Trax"よりリリース。
2012年「switch -岡本光市 遊びのデザイン-」／POLA MUSEUM ANNEX（東京）
2012年、2014年 ロンドンデザインフェスティバル／V&A Museum（ロンドン）

静岡県立美術館 前田直紀

県民ギャラリーB展示室
※会期：2月2日(火)～7日(日)



《一閃シリーズ》2014／陶

前田直紀 まえだ・なおき

1977年 藤枝市生まれ
2010年 藤枝市に穴窯築炉
2014年 Argilla-Italia, Faenza Italy
PENTIK gallery, Posio Finland
2015年 パラミタミュージアム（三重）



《Spider's thread》2013／陶、漆

～ひらけば器、つめば祈り～作者の対照的とも思える「器」と「オブジェ」の表現であるが、どちらも「掌（たなごころ）」からくるもの。国内外で自然と向き合う制作スタイルは現代的な土着とも受け取れる。自らをセラミックコミュニケーターと名乗る「土の表現者」。今回の展示では作者の「手」から紡ぎ出される新たなアプローチを共有してほしい。（アートマネジメント力育成事業 受講者企画「前田チーム」）

めぐるりアート静岡 関連イベント

●アーティストトーク

1月26日(火)
13:00 岡本光市／静岡県立美術館エントランス
15:00 岩野勝人／静岡市美術館エントランス
16:00 株式会社大と小とレフ／サールナートホール
17:30 門田光雅／Gallery PSYS

2月7日(日)
14:00 前田直紀／静岡県立美術館 県民ギャラリー
16:00

2月14日(日)
13:00 成実憲一／ギャラリーとりこ
14:30 乾久子／金座ボタニカ
16:00 曾根光輝／Gallery UDONOS

●乾久子ワークショップ「くじびきドローイング」

1月17日(日) 14:00～16:00
→ 鴨江アートセンター201
定員：20名 参加資格：小学生以上
問合せ・参加申込：詳細はお問い合わせください。
TEL: 053-458-5360 e-mail: k.a.c@kamoeartcenter.org
鴨江アートセンター <http://www.kamoeartcenter.org>

1月31日(日)、2月7日(日) 各日13:00～15:00
→ 金座ボタニカ 3階ギャラリー／参加費無料
問合せ・参加申込：TEL: 054-238-4876 静岡大学アートマネジメント力育成事業事務局／平日10:00～16:00